

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援事業所 クローバービーンズ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心し、楽しめるような環境づくりを心掛けている。	・看護師が多数在籍し、医療的ケアがありながらも安全かつ安心して過ごせる環境作りを意識している。	・保育士が中心となり、日々の活動がマンネリ化しないようスタッフ間で話し合っ、様々な体験ができるよう計画していく。
2	リハビリスタッフに利用者の状態を見てもらいリハビリを実施している	・同じ姿勢でいる時間が長い時があるため、臥位以外の姿勢の時間を取る。 ・手を上肢の運動を行うときは出来る限り、起居時間(椅子座位等)をつくる。 ・利用者の状況に合わせ、ポジショニング等にも注意している。	・リハビリの時間が短くなってしまいう時があるので、継続して行えるようする。
3	避難訓練や緊急対応のシュミレーションを行っている	・2カ月に一度避難訓練を実施や、救命講習を受講している。 ・発電機や非常用の食品、日常生活用品の備蓄を準備している。	・発電機など定期的に使用できるか点検を行う。 ・緊急対応時のスタッフの役割を利用者に合わせ常に見直し、迅速に対応出来るように準備し共有する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置基準は満たしているが、多機能型であるため送迎や入浴時間の際に人員が手薄になってしまう時がある。	利用者の送迎や入浴の際の状況によって、1対1でのケアが難しくスタッフが多く必要となる時がある。	・必要な時間帯での人員確保をする。 ・スキルが不足している点については、研修を実施し、どのスタッフでも対応できる体制を整備する。
2	個々に合わせた入浴・医療的ケア以外の療育が不十分な時がある。	利用時間内に優先となる入浴・医療的ケアがあり、その他の療育に時間が少なくなることがある。	療育についての研修等を行っているがさらなる充実を図り、短時間でも行える療育を考えていく。 送迎時や入浴活動の中などで行える療育を立案し、常に療育を行う環境を整えていく。
3	地域の子供たちとの交流が少ない	長期休みなどに児童館や児童養護施設等に関わりがあるが、機会としては少ない。	定期的に他施設を利用し、交流の機会を図る。 事業所で行うイベント(春祭りなど)を地域に周知し、交流できる環境を今以上に整える。